※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　外国語科

科目	**英語Ⅰ入門**	単位数	1
使用教科書	なし		
副教材等	英語Ⅰ入門　（NHK 出版）		
レポート	３通		
必要出席回数	４回		
テスト	○		

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「話す」「書く」「聞く」「読む」という４技能の基礎力を身に付ける
- 中学英語の内容を確認しながら、高等学校レベルへ段階的にステップアップするように学習をすすめていきます。
- ひとつずつ理解するために、スクーリングにはできるだけ出席するようにしてください。
- スクーリングと NHK 高校講座の併用で、語彙力強化や予習復習にも取り組みましょう

2　学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・アルファベットが発音されるのを聞いてどの文字であるかを聞き取ることができる。 ・ゆっくりと、またはっきりと発音されれば身近で基本的な語や句が聞き取ることができる。	・基本的な日常の挨拶や季節の挨拶の文を読んで理解することができる。 ・基本的で具体的な単語や句の意味を理解することができる。	・アルファベットを正確に発音できる。 ・基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。	・アルファベットを正確に発音できる。 ・基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。	・ブロック体のアルファベットを大文字･小文字を区別して順番通り書くことができる。 ・基本的な単語や句を正確に書くことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な英語の音声、語彙、表現、文法などの知識を身につけ、活用できる技能を身につけている。	場面・目的・状況等に応じて、情報や考えなどを基本的な英語で的確に理解し、適切に表現している。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、また、自律的・主体的に、自分の考えを表現しようとしている。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

R＝レポート　S＝スクーリング　T＝定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	題 “題材名”	領域	観点	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知 (a)	思 (b)	主 (c)
後期	Part10 一般動詞の過去形 Part11 一般動詞の過去形の Part 12 否定文･疑問文 疑問詞 Story3 Save the Animal Part13 現在進行形 Part 14 所用代名詞 Part15 助動詞と命令文 Part16 to と不定詞 Story4 Japanese Skateboarder	● 聞くこと	a.	過去形、現在進行形、助動詞を含む基本的な音声表現を聞き分けることができる。未知の単語があっても文脈から推測して聞き続けることができる。	R S T	R S T	R S
			b.	セクション毎に本文の音声を聞き、重要な情報をレポートにメモをとることができる。			
			c.	（本単元では設定しない）			
		● 読むこと	a.	過去形、現在進行形、助動詞、不定詞を含む基本的な文を読んで理解することができる。			
			b.	レポート内容に関連した練習問題に取り組み、文章の意味を読み取ることができる。			
			c.	自身の経験や考えに関連させながら、読んだ内容について自分の意見を記述することができる。			
		● 話すこと （やりとり）	a.	学習した過去形、現在進行形、助動詞を含む基本的な表現を用いて、相手の質問に応答できる。			
			b.	相手の疑問文や否定文を正確に理解し、¥簡単なやり取りの中で自分の考えを伝えられる。			
			c.	スクーリングなどの機会を活用して、学習内容を実際の会話で活用しようとする姿勢を示す。			
		● 話すこと （発表）	a.	一般動詞、現在進行形、助動詞等の疑問文、否定文理解し、レポート等で発表することができる。			
			b.	セクションごとの語や句を使用し、レポート等で発表ができる。			
			c.	一般動詞、現在進行形、助動詞等の疑問文、否定文読み、自身のことについて、レポート等で発表ができる。			
		● 書くこと	a.	一般動詞、現在進行形、助動詞等の疑問文、否定文を用いて文章を書くことができる。			

※令和４年度以降入学生用

			b.	文法項目を組み合わせて、自分の経験や考えを複文で表現することができる。目的に応じた適切な表現を選択できる。			
			c.	レポート課題に丁寧に取り組み、自分の意見や伝えたいことを記入することができる。			